

令和4年度(2022年度)高校講座実施報告  
(令和5年2月分)

令和5年3月28日

●神奈川県 私立フェリス女学院中学校・高等学校(令和5年2月28日)



講演テーマ: 外交という仕事

講師: 総合外交政策局 政策企画室 前田恵理 首席事務官

開催形式: 対面

●広島県 私立英数学館高等学校(令和5年2月9日)



講演テーマ: 外交官を志した経緯、G7 広島サミット等

講師: 大臣官房 G7 広島サミット事務局 伏木光英 課長補佐

開催形式: 対面

●京都府 府立福知山高等学校(令和5年2月9日)



講演テーマ: 外交官という仕事

講師: 領事局 邦人テロ対策室 梶原佑馬 主査

開催形式: 対面

●広島県 県立福山名王台高等学校(令和5年2月8日)



講演テーマ: 外交官を志した経緯、G7 広島サミット等

講師: 大臣官房 G7 広島サミット事務局 伏木光英 課長補佐

開催形式: 対面

●群馬県 私立大阪星光学院高等学校(令和5年2月8日)



講演テーマ: 外交官という仕事

講師: 領事局 邦人テロ対策室 梶原佑馬 主査

開催形式: 対面

●和歌山県 県立星林高等学校(令和5年2月1日)

フィンランドの今:  
歴史的転換点にある「世界一幸せな国」

外務省「高校講座」 和歌山県立星林高等学校(Online)  
令和5年2月1日(水)  
駐フィンランド大使 藤村和広

令和5年2月1日外務省「高校講座」



講演テーマ:フィンランドの今:歴史的転換点にある「世界一幸せな国」

講師: 在フィンランド日本国大使館 藤村和広 特命全権大使

開催形式: オンライン

参加者からの感想(抜粋)

- ・ 外務省について漠然と外交をするというイメージしか持っていませんでしたが、その詳細や実際の業務について詳しく知ることができて貴重な機会になりました。また、語学習得、「違い」についての寛容さや地道な人間関係の構築が大切だと学ぶことができました。
- ・ 外務省が本当に幅広い活動をしていることが分かりました。特に印象に残った話は、途上国への支援が、テロ防止など他の活動にもつながるということです。一つの行動が、複数の行動へ伝播することは、とても素晴らしいと思います。
- ・ 今起きている問題で日本と世界が関わっていない問題はないという言葉が印象に残りました。外務省の仕事が、日本と世界の平和、安全のために仕事をしている大変な仕事だとわかりました。
- ・ 外務大臣の政策スピーチの作り方や要点の話が印象に残っています。また、子供を持つ女性としての視点で、外務省はどのような取組を行っているのかを聞くことができ、自身の将来を考える上でもとてもためになりました。
- ・ 一番印象に残った話は、「外国語を勉強するのと同時に母国語の勉強を疎かにしない」です。外国語を習得しようと思うと、その言語のことばかり考えてしまいがちですが、母国語もしっかり勉強することで外国語の表現にも良い影響を与えることに繋がると感じたからです。
- ・ 大使館での業務で、歴史的瞬間を目の当たりにしたり、事故に巻き込まれかけたりと、大変なこともあります。現地でしか経験できないことを経験できる職業として、関心を持ちました。
- ・ グローバル共生社会において必要な能力・資質はどのようなものがあるかなどを学ぶことができ、今後の国際社会の学習における意欲や理解等を少しでも高めることができました。